

第8回 宝塚市教育環境審議会 議事録(概要)

開催日時	令和5年(2023年)11月21日(火) 10:00~12:00
開催場所	宝塚市役所 3-3 会議室
出席者	【委員】 伊藤委員、川上委員、藤本委員、笠井委員、鈴木委員、高井委員、福住委員、田井委員、田村委員、横野委員、裏地委員※敬称略、順不同 【教育委員会事務局】 6名
傍聴希望者	なし
次第・議事	1 開会 2 委嘱、任命辞令交付 3 教育長あいさつ 4 委員紹介 5 会長及び副会長の選出 6 会議の成立及び公開について 7 報告事項（教育環境適正化に向けた取組状況について・宝塚第一小学校・長尾小学校・西谷小・中学校） 8 議題 (1) 学校施設の複合化に関する現状と課題 (2) (仮称)宝塚市教育環境整備基本方針(骨子案)について (3) その他
議事録	
	<p>【1 開会】</p> <p>【2 委嘱、任命辞令交付】</p> <p>【3 教育長の挨拶】</p> <p>【4 委員紹介】</p> <p>【5 会長及び副会長の選出】</p> <p><事務局案を提案し、承認を得る></p> <p>【6 会議の成立及び公開について】</p> <p><11人中11人の委員が出席しており、過半数の出席となり、会議は成立。本日の会議において、個人情報等に関する事項について一部非公開。></p> <p>【7 報告】</p>
事務局	資料5「教育環境適正化に向けた取組状況について」の報告
会長	資料に3点と書いていたが、今の説明で全部ということではよかったか。
事務局	はい。
会長	ただ今の報告事項について、委員の皆様から質問等を受けたい。どなたからでも結構なので出してもらえたらと思う。
会長	宝塚第一小学校の弾力的運用について、試しに近くの学校に通ってみて、その学校でもよいというお子さんがいれば、正式にその学校に通学するという理解でよいか。
事務局	意向調査で就学学校を変更すると回答すれば、その学校に通学してもらうことになる。変更した学校があわないということで、さらに別の学校への変更は認めていない。意向調査の中で他校の情報等を案内し、事前に見学をしてもらうようにしている。

会長	見学等はするが、試しに 1・2 週間通ってみるといところまではないということか。
事務局	体験入学みたいなことは想定していない。
会長	分かった。長尾小学校も規模が過大になっているが、ここは体育館等、建物のことだけで、宝塚第一小学校のような弾力的運用とか、校区を変えていくことはしなくてよいのか。現状どうなっているのか。
事務局	長尾小学校は、元々、体育館建て替えの要望からの流れがあり、地域としては建て替えの思いが強い。これから順次児童数を減らす方策の話もしていけたらと考えている。
会長	まずは体育館からということか、分かった。
事務局	そこも検討しながら、児童数を減らすような議論もしていく。
委員	長尾小学校は、体育館以外にキャパの問題はないのか。体育館さえ何とかなれば、人数が多くなっても問題ないという現状なのか。体育館以外についても、何か潜在的にあって、規模の問題に取り組まざるを得ないという状況なのか。
事務局	運動場も児童の規模に見合っておらず、休憩時間中の児童同士がぶつかって、怪我が多いというような報告も聞いている。
委員	<p>長尾小学校体育館建て替え推進実行委員会の委員をしている。長尾小学校の校舎は、既に建て替えられており、建て替えられる前から教育委員会とやりとりがあった。長尾小学校区は植木産業の街で、土地がたくさんあり、植木屋さんが廃業すると、所有している土地が手放され、そこに宅地開発が進んでいった。そのため、今後も人口増が見込まれるが、ここから先は増えることはないという市の返事があった。私たちからすると、絶対 1,000 人は超えるから分校を作って欲しいという要望を出したが、それは受け入れられなかった。それからしばらくして、耐用年数の問題で、校舎を建て替えることになった。その当時は、多目的室もたくさんあったが、今は一切ない。</p> <p>そして、長尾中学校のすぐ近くに、100 戸の戸建てができるという情報がある。その戸建ては長尾小学校区で、子育て世帯が購入しやすい価格帯になるので、そこからまた増えていくことになる。今、満杯の状態、ここから児童数が増えていくと、またプレハブを建てなくてはならないが、建てるキャパはない。</p> <p>ということで、体育館の建て替えに固執しているが、体育館自体、まだ 35 年ぐらいしか経っていないので、建て替えはおそらく無理だろうと思っている。だが、これから先の児童数の増加については懸念している。</p>
会長	他にはないか。

副会長	<p>弾力的運用というのは、具体的に何なのか分かりにくい。それと、教育環境適正化に向けた取組というのは、タイムスケジュール的にいつまでにどうしなければならないのか。この取組は、やればやるだけ反対されるのではないかという感じがすごくする。そして、年度が替われれば、新しい人が来て、同じ気持ちだと思う。うまくいかなければ、このままうまくいかないままでいいのか。来年にはどうするのかとか。それがいかなかった場合どうなるのかとか、その辺はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>まず、通学区域の弾力的運用についてだが、市が校区ごとに通学する学校を指定するところ、宝塚第一小学校区にお住いの児童については、周辺の学校を選択できるという制度である。周辺の適正規模校である末広小学校、西山小学校、逆瀬台小学校に通学できる。</p>
委員	<p>私は長尾地域に住んでいる。結婚をした時に、賃貸で家を探そうとしたが、長尾地域で家を探している人がたくさんいるということを不動産屋さんから聞いた。宝塚第一小学校区にできる 600 戸のマンション、長尾小学校区にできる 100 戸の戸建てを販売する時に、ここは宝塚第一小学校区、ここは長尾小学校区で販売されてしまうと、後で、市がこのマンションは逆瀬台小学校区と言った時に、宝塚第一小学校区だから買ったのにという反対が起こると思う。おじいちゃん・おばちゃんも長尾小学校に通学していたから、孫も長尾小学校みたいなところは仕方がないと思うが、不動産屋に宝塚第一小学校区という広告を抑えてくれないかというような働きかけは、市からできないのか。また、弾力的運用をしても希望者がいなくて、ほとんど宝塚第一小学校に通学するのであれば、最初の段階で、ここは宝塚第一小学校区だが、西山小学校に通学してくださいというような働きかけをマンションが竣工するまでにできないのか。</p>
事務局	<p>販売業者に規制をかけることが出来ないのかについては、宝塚第一小学校教育環境適正化検討委員会の中でもそういうご意見をいただいた。ただ、市から広告を控えて欲しい等と言うのは、マンションの販売に影響を与えることになるので、そういうような規制をかけるのは難しい。</p>
委員	<p>そこだけ校区を変えることはできないのか。宝塚第一小学校区にマンションが建つのか、西山小学校に近いのか分からないが、そこは西山小学校区であるというのは駄目なのか。</p>
事務局	<p>校区の境界付近で開発が行われた場合は、校区変更をすることができるが、旧宝塚ホテル跡地のマンションは、宝塚第一小学校区を中心に建設される。校区の飛地設定というのは、登校班の問題もあって厳しいことから、このマンションは宝塚第一小学校区ということになっている。</p> <p>先ほどの教育環境適正化に向けた取組のタイムスケジュールだが、地域の人からも令和 7・8 年度に旧宝塚ホテル跡地にマンションが建つからといって、早急な取組を求める声があった。短期的な取組ということで、通学区域の弾力的運用から検討を始め、令和 6 年度からの実施となった。ただ、児童数を減らす取組の中で、校区変更の話があると思うが、保護者への説明会等をしていると、保護者から色々なご意見をいただく。地域からもそこは慎重に議論してもらいたいというご意見があり、具体的にいつまでにということころは、今のところ設けていないが、</p>

事務局	<p>引き続き地域と丁寧に議論をし、決めていくこととしている。</p> <p>少し補足すると、旧宝塚ホテル跡地のマンションが、令和 7・8 年と 2 カ年に分けて、300 数十戸ずつ入居が始まる。ここに今までに建設されてきた普通のマンションと同じように子どもが増えてくると、宝塚第一小学校の状況は非常に厳しくなるが、今、開発業者と打ち合わせをしている中では、このマンションの建設による宝塚第一小学校の児童数の急増は、それほど影響がないと見込んでいる。ただ、既に、1,000 人を超している学校で、このマンションの開発に関係なく過大規模校であることに違いはないので、やはり子どもの数を減らしていくための取組をしていかなければならない。スケジュール的には、なるべく早い方がいいという地域の認識もあるが、過去に校区変更でしんどい結果になっていることや、地域の中では、過大規模校でもいいので、増築してでも児童が入れた方がいいというご意見もあったり、トイレに子ども達が並ばないといけなような状況であったり、運動場で遊ぶ日が指定されており、自由に遊ぶことができない環境はよくないので、そこを是正していかないといけないというような意見を、今、調整している。そうした調整も終われば、ある程度スケジュールも見えてくるのではと考えている。</p>
副会長	<p>行政がする仕事なので、ある程度タイムスケジュールがあり、何年でできなかつたら、市で校区を決定するとか、そういう計画なのか。そうでなければ、地元で十分に議論していただき、うまくいかなければ、増築という計画なのか。その辺りがはっきり見えないと、ゴールが見えない議論をずっとするのは、どちらにとってもあまり気持ちのいいものではないと思う。令和 6 年度中に結果が出なければ、この会議をしないということであれば、まだ分かるが。</p> <p>過去に苦しい状況にあったというのは、何があったのか。</p>
事務局	<p>宝塚南口駅のサンビオラ跡地に高層マンションが建った時、宝塚第一小学校では、既にプレハブ校舎で子ども達を受け入れていた。1,200 人を超していたと思うが、そうした状況の中で、このマンションに周辺のマンションが開発された時と同じように子どもが増えるような要素で計算していると、子ども達を受け入れることができない見込みとなった。その際、地域と水面下で協議をし、校区変更案を市教育委員会から提示したが、提示した途端に大きな反対が起きた。そして、マンションの販売業者との協議があまりできていなくて、実際に販売業者に聞いた時には、購入世帯で小学生は 4 人しかいないことが分かった。しかし、市教育委員会は児童数の推計から数十人増えるの見込んでいた。この 4 人と数十人の差もあって、見込みが甘すぎるということで、相当な批判を受けた。校区変更をする前提で保護者説明会をしたが、その説明会の中で、白紙撤回するという宣言をしなければならぬ状況になった。それが、平成 22 年の話である。</p> <p>その時と同じように、今回のマンションも実際にどれぐらいの子どもが入居するかは、販売状況等をしっかり把握した上で、子どもの推移を見ていかなければならない。それと、全市的には、開発地域では一定子どもが増えるが、それ以外の地域では子どもが減っていった。長尾小学校も多い時は 1,300 人台で、その後も小さな開発とかマンション 1 棟建ての建設はあったが、今 1,100 人を下回っているぐらいで、マンションは建っているが、子どもは減っている現状である。ただ、今回の宝塚第一小学校区に建設されるマンションは、普通のマンション 3 棟分ぐらいが一気に建つので、猶予がないと思うが、全体的には少子化で子どもは減っていった</p>

委員	<p>るので、その減り加減も見極めながらの判断も必要である。後、スケジュールだが、色々なご意見が出ている中で、今の時点ではゴールも言えない状況である。ただ、この議論を続けていくわけにはいかないので、1 年が過ぎた頃に目途は一定つけるべきと思うので、3 月ぐらいの会議では、いつぐらいを目途に議論をしていくのかという方向性は示していきたい。</p> <p>宝塚第一小学校の適正化検討委員会に参加しているので、現状だけ少しお話をしたい。先ほど話があったように、一度、校区変更に関して、かなりのハレーションが起こったことから、事務局にはすごく丁寧に対応していただいている。先ほど、どなたかがおっしゃったように、宝塚第一小学校区も地域性として 3 世代通わせてあげたいというご家庭が非常に多い。現状、空き教室は 1 つあるが、来年は減るかもしれず、自由に使える多目的教室はほぼない。運動場の狭さもあって、長尾小学校のことで話があったが、一斉に子ども達が出た時、衝突事故が非常に多かったため、コロナ禍で密を避けるために、20 分休み・昼休みの遊ぶ時間の学年を決めたことで、衝突事故が減ったため、アフターコロナの利点として続けている。子ども達はそれに馴染んでいるが、保護者の中には他の学校に行ったら、これは普通ではなかったなと気付くこともある。今の宝塚第一小学校の教育環境に子ども達が順応することで、教育活動がしっかりできているのであればという保護者も中にはいる。学校としては、与えられた規模の中で、子ども達の教育環境を整えていくために、行政と連携しながら、学校としてできることをしていく。</p> <p>ちなみに、昨日、就学時健診があって、180 名の新生生を見込んでいたが、166人ということになった。現 6 年生が170名を超えるぐらいなので、このままでいくと、全児童数は少し減る。ただ、現在、自閉情緒学級は 3 クラスだが、来年は 4 クラスになると見込んでいる。でも、空き教室はないので、どうするのかという話になる。そこは、事務局を通じて、少しずつでも児童数を調整していくことになるのかなと思う。</p>
会長	<p>先ほどの現状についての説明で事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>教育活動への支障の有無でいくと、他の学校と比較すると、宝塚第一小学校では、一定の制限があるので、そこは子ども達のことを考えれば、校区変更も含めた議論というのは、地域の中でしっかりとしていけないといけないのかなと思う。</p>
委員	<p>もしデータがあればだが、宝塚第一小学校、長尾小学校の休み時間の使い方にかかなり制約がかかっているが、市で子どもの体力・運動能力関係への影響を把握しているか。論文になった話ではないが、知人で校医をしている小児科医から、校舎の改築等でグラウンドが使えない時期が出てくると、子どもの体力・運動能力に影響が出るという話を聞いたことがある。ただ、彼の肌感でしかないもので、データとしてどういうものになっているかというのが、もしあれば。衝突事故のリスクは、すごく分かりやすいが、運動機会の減というのは、どういう形で出るのかということも含めて、適正な環境を考えていく必要がある。やはり学習環境だけではなくて、体を動かせる環境をどう確保していくかというのは、大事なポイントになると思うので、データがあるか聞かせてもらいたい。</p>
事務局	<p>宝塚市全体の体力向上を測るような指標はあるが、学校個別のデータは見る事が出来る</p>

	<p>ような状況にはないので答えることが出来ない。宝塚市全体としては、全国に比べて体力的に劣っていることが分かっているので、体力向上に向けて、現在取り組んでいかなければならないと認識している。</p>
副会長	<p>先生の数というのは、生徒の数に対して配置されるのか。</p>
委員	<p>配置されている。もっとたくさん配置して欲しい。また、クラス数も 35 人学級編成が導入され、最初は 1 年生からで、2 年生、3 年生と順に 35 人学級になり、それに合わせて教諭が配置されている。増やして欲しいと言ったのは、個別に関わっていきたいお子さんが増えてきている。データにあるように、5 人に 1 人、6 人に 1 人は配慮のいるお子さんがいることから、そのお子さんに対してしっかりと対応するためにも教員は多いに越したことはない。</p>
副会長	<p>先生が増えればいいというのは、一般的に全ての学校に言える課題と思うのだが。</p>
委員	<p>私は小学生の子どもがいるが、大規模校の良いところと悪いところを親として知りたい。宝塚第一小学校、長尾小学校だけ、通学区域の弾力的運用を実施することを前提にすると、別の学校に行けるのであれば、行かせてみたいと思う親に大規模校のメリット・デメリットの情報を発信して、それで別の学校に行くことが出来るのであれば双方にとってよいことだと思う。1 年生になる前に、この学校は大規模校で、メリット・デメリットはこれで、学校の変更を考えてみませんかというような発信を継続的に取り組んでもらえれば、変わると思う。やはり友達がいるからという理由で、西山小学校 4 件、末広小学校 2 件なので、もっとしっかりと当事者に対して情報を発信してもらいたい。さらに、大規模校のメリット・デメリットの他に、小規模のメリット・デメリットも当事者に知らせていければ、それが西谷の取組にもつながると思うので、当事者に知らせていけるようなよい方法はないのかなと思う。</p>
事務局	<p>宝塚第一小学校に通学区域の弾力的運用を導入する時には、保護者が宝塚第一小学校の現状を知らず、今の環境に慣れているところもあったので、宝塚第一小学校が過大規模校であることと、通学先に選択できる適正規模校の魅力発信もあわせて説明を行った。事務局も宝塚第一小学校の現状は継続的に保護者に説明していかないといけないと思っている。この弾力的運用を毎年新小学校 1 年生に実施していくので、この取組を通じて宝塚第一小学校の現状を広く理解してもらおうと思う。</p>
委員	<p>長尾小学校はしなくていいのか。規模的には同じではないか。宝塚第一小学校だけやっているが、長尾小学校には、そういう話は何もないのでは。</p>
委員	<p>長尾小学校は、現在、体育館の建て替えに特化しているので、そういう話がないのだと思う。市からの声かけもあり、宝塚第一小学校と同じような組織を作ろうとしている。</p> <p>そして、大規模校のデメリットから言うと、修学旅行や自然学校の際、泊まることが出来る施設がない。1 学年で 200 人以上いたら、それを引き受けてくれるところがない。コロナ禍では、100 人収容のところ半分の 50 人しか泊まれず、ホテルを分けないといけないようなことがあ</p>

	<p>た。一か所に泊まれるところがないということで、断念したこともある。そして、泊を伴う行事はできませんと学校側が言うと、他の学校ではできてるのにと、保護者が一斉に文句を言ってくる。要は、学校に行っている保護者が学校の現状を知らない。長尾小学校に行ったら、これだけのメリットがあるが、デメリットもこれだけあるということを最初に知っておくというのは大事なことです。コロナ禍が明けて、修学旅行や自然学校にも行けるようになったが、またコロナやインフルエンザが流行した時に、また、学校は対応に追われる。引率の先生は、病人が出たら連れて帰らないといけなとか、細かい対応を保護者は何も知らない。</p> <p>長尾地域は、今は新住民の方が多いので、弾力的運用に賛同する人が出てくると思う。先ほど言った長尾中学校のすぐ近くにできる 100 戸の戸建ての入居する子どもが、例えば安倉北小学校に通学するのもありかなと思う。安倉北小学校の児童数を見ると、どんどん減っていつているし、中学校は長尾中学校に戻ってくる。その辺りをよくよく説明していけば、割とすんなりといけそうな気はしている。</p>
委員	<p>今後、弾力的運用の対象者の新 1 年生とか新住民の方に情報提供をするのであれば、あわせて、学童保育の競争率を提供してもらえると、結構影響があると思う。宝塚市は、地域によって、公立学童以外の民間学童があたりなかったりで、私も入ってから気づいたことがあったので、ご家庭の経済的なこととかとあわせて早めに情報提供すれば、お勤めされている保護者も相談できると思うので、是非一緒に情報提供いただきたい。</p>
事務局	<p>承知した。</p>
会長	<p>残りの時間のこともあるので、8 の議題に進みたいと思う。事務局の方で説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>議題の説明に入る前に、資料の訂正をお詫びしたい。本日記布している資料で、議題の(1)と(2)の順番が逆になっている。まず、「(2) 学校施設の複合化に関する現状と課題」から説明をさせていただき、申し訳ない。</p>
事務局	<p>【8 議題】</p> <p>学校施設の複合化に関する現状と課題ですが、全体を説明すると、公共施設の在り方というものが、今、行政の中では大きな課題となっている。あえて、教育の場で公共施設の在り方を議論しなければならないのは、学校施設が行政(国・県・市)の持つ公共施設の 4 割以上、宝塚市であれば 5 割近くが学校施設という位置付けになっている。それで、教育環境というのは、教育的なソフト面と、施設的なハード面、両方がうまく相まって教育効果というものが高まっていく。そのために校区変更も含めて、規模に応じた子どもの数にしていこうとしているが、そもそも基礎となる学校施設が、非常に老朽化しており、そこをどう維持していくのかという話である。</p> <p>資料 8「(2) 学校施設の複合化に関する現状と課題」に基づいて説明。</p> <p>国の方では、このようにまとめられており、宝塚市でも実は来年度組織改正を行う。公共施設マネジメントという部署があるが、そこと教育委員会がしっかりと連携をとって、今後複合化も含めた検討をしていこうとなっている。今日、会議を開いて、皆様にご意見をお聞きしようとした</p>

のは、今後策定する基本方針の大きな柱の中の一つに、この複合化も入れていきたいと思っている。ただ、今までの審議ではこの複合化というところは、深く議論をしていなかった。答申には今から遡って入れることはできないし、また、新たにこれだけで答申を出すということもできないが、今日ここで議論していただいたことを踏まえて、今後策定する小中一貫教育、あるいは校区の再編、それとこの複合化という三本柱の方向性が出せればと思うので、皆様方のご意見を聞かせてもらいたい。それと、説明の中で申し遅れたが、単なる公共施設の効果的な維持だけではなく、学校複合施設にすることによって、より多くの方が学校に関わっていただくことになり、学校を核とした地域運営、学校教育ではなく、学校施設を核とした地域運営ができれば、自ずと学校への支援が深まっていくことも見込んだ複合化ということになる。説明は以上。

会長

今の複合化も含めて、新たに宝塚市教育環境整備基本方針骨子案にそれが入るということで、もう一つの資料の説明はどうか。

事務局

実はまだ宝塚第一小学校であるとか、他の地区でも校区の整理の話をしている途中なので、骨子ということで、タイトルだけを書き並べている。その中で、「1 基本方針の策定について」の目的だが、答申に基づいてこの目的を整理しようと思う。あるいは、第二次宝塚市教育振興基本計画を一部抜粋したり、文部科学省の中央教育審議会の答申等を引用したりしながら、これをまとめていこうと思う。

資料7「(仮称)宝塚市教育環境整備基本方針(骨子案)」に基づいて説明。

「2 基本方針の骨子」が基本方針の中身で、「① 本市において小中一貫教育(義務教育学校)を推進する」という宣言。「② そのため、中学校区を基本単位とした小中学校の通学区域の整合を図る」ということ。そして、先ほど説明した「③ 学校施設を整備するに当たり、地域の拠点づくりや各種公共施設との複合化について、関係部署と連携して検討する」ということ。公共施設全般では、教育委員会でこうしますという方針が出せないため、検討するに留まっている。

「3 基本方針の推進」だが、この①～③について、どのように進めていくのかだが、「(1) 基本方針①」の「本市において小中一貫教育を推進する」だが、義務教育 9 年間を見通した小中一貫教育のさらなる充実に向け、次の 2 つの施設形態で取り組んでいくということで、1 点目が施設分離型。施設一体型が望ましいが、学校規模からすると、今すぐに一体型で、児童全てを受け入れることが出来ないで、中学校の施設で受け入れることになれば、小学校も特定の学年、例えば 6 年生だけにするのか、5・6 年生にするのか。この学年を中学校施設に移して、教育活動を行う施設分離型の小中一貫教育。あるいは、子どもが減ってきた段階、もしくは子どもが少ない地域では施設一体型。小学校・中学校の子どもを一つの施設で受け入れ、小中一貫教育としての教育活動を行っていくということ。この小中一貫教育の基本方針案というのは、タイトルのところに書いているが、第二次宝塚市教育振興基本計画の目標の中に「生きる力を育む」というところが大きなポイントになっていることから、「生きる力を育む小中一貫教育」で、「コミュニティスクールを核とした義務教育 9 年間の連続性のある学びを目指して」ということで、この名前をタイトルに今想定している。タイトルには書いていないが、「生きる力を育む小中一貫教育」「コミュニティスクールを核とした義務教育 9 年間の連続性のある学びを目指して」ということを目標とした小中一貫教育のプランを作っていければと考えている。

次に、「(2)基本方針②」だが、「中学校区を基本単位とした小中学校の通学区域の整合を図る」だが、これは「小中一貫教育を推進するため、中学校区を基本単位とした通学区域の再編を行う。この場合、通学区域の再編に当たっては、旧の町村、集落を基礎的な地域とする。」ということで、西谷は校区変更が必要ないので関係ないが、旧良元村であれば、鹿塩、小林、蔵人、伊子志等、旧の村落単位。旧宝塚町であれば、川面、米谷、小浜、安倉等。旧長尾村であれば、中山寺、中筋、山本、平井、口谷等、こうした地域になってくるかと思う。この単位である程度整理を進めていきたいと思っている。それと、校区を整合する時には、平成 28 年 3 月に策定した「適正規模適正配置の基本方針」に示した適正な範囲に近づけていく努力はしつつも、通学区域は今説明したとおり旧の町村、あるいは村落単位での校区の見直しを想定している。そもそも本市の小学校は、昨日、西谷小学校で創立 150 周年の記念行事があった。この 150 年というのは明治 6 年の学制ができた時に建設された学校で、その時代から村落単位で学校が編成されてきている。良元村でいくと、実は鹿塩にも学校があった。良元小学校は昔、小林小学校。蔵人にも学校があって、実は伊子志村には学校がなかったので、小林小学校に通っていたが、後に、それが小林小学校に統合されて、明治 22 年の町村合併の時に市制・町村制ができた。その時に良元村、長尾村、宝塚村、西谷村というようにある程度まとまってきて、学校も集約されてきたが、そもそも村落単位に学校があったので、村落単位である程度まとまった協議ができればと考えている。このように村落単位で校区編成について色々協議をしていきたい。

「(3)基本方針③」の「学校施設を整備するに当たり、地域の拠点づくりや各種公共施設との複合化について、関係部署と連携して検討する」だが、(ア)通学区域の再編及び学校施設の活用については、学校施設の老朽化等の劣化状況を踏まえ、改修、増築、改築などの建築手法を精査して進める。(イ)再編に当たっては、地域の活動拠点となるよう、学校施設の活用をさらに進める。そのため、学校施設の一部を学校教育以外の目的で地域利用についても検討する。(ウ)本基本方針の推進に当たっては、市の公共施設マネジメント計画に影響が及ぶことも懸念されることから、市長事務部局の関係部署との整合を図りながら進めていくような基本的な考え方で進めていく。

「4 今後の進め方」だが、今申し上げた村落単位・地域単位の組織の立ち上げ、地域単位で検討を進め、意見書又は提言書みたいなもので取りまとめてもらおうと思う。そうして取りまとめたものも含めて、進捗管理もそうだが、この教育環境審議会における総合調整、地域の方にも来ていただき、意見調整が必要な場合は、この委員会には補助委員を一時的に選任する仕組みがあるので、補助委員として参画していただいて、ここで議論することも可能なので、意見調整をしてもらうことになる。それがここでいう総合調整である。「③ 教育委員会による実施計画の策定」で、実施計画に基づいた小中一貫教育。それに向けた通学区域の編成と小中一貫教育の実施を進めていくということになる。スケジュールはまだここには書けていないが、そういったスケジュールも含めて、最終的には基本方針としてまとめていきたいと思う。できれば、年内ぐらいにはまとめて、年明けぐらいには皆様に説明させてもらった上で、パブリックコメントを今後かけていく。広く市民の意見を聞いていくということ。年度末か年度明けぐらいには、基本方針としてしっかりと策定して、地域にそれぞれ協議に入っていきたいと思う。そういった骨子のため、出来次第、委員の皆様を示したい。

会長	<p>審議会に強く関係するこれからの基本方針骨子案についての説明があったが、これに対して意見や質問はあるか。</p>
委員	<p>まず、学校をうまく公共マネジメントに使うのはすごくいいアイデアだと思う。商工課の委員をしていた時に色々議論をしたが、宝塚市の中にもう稼働していない公民館がたくさんあることや、駅前の商業施設は、昔ほど活気がない。この中で、一体、市民のコミュニティをどうやって、どこでビジネスを作るのか。さらにこれにプラスして学校をコミュニティに入れる。総論は賛成だが、学校は夕方 4 時ぐらいまでイベントをしている。クラブ活動のことを考えると、6 時ぐらいまで活動している中で、一体、どの時間帯を市民に開放できるのか。その位置づけをどのように考えているか教えてもらいたい。</p> <p>もう一点は、小中一貫教育(義務教育学校)だが、山崎市長の年始の推進委員会に参加させてもらい、本当にやるのか聞いたところ、「私はやります」と言っていたが、山崎市長の任期の間にできるのか。2025 年 4 月に方針ができてと言っていたら、一体、皆さんはいつやる気なのか。市長が退任され、次の市長で反対と言われたらできないのではないかと。西宮市も先行スタートして、まだ 1 校しかできていない。宝塚市は西宮市と全然違う進め方ではないかと。その点をどう捉え、また、西宮市の取組をどう捉えて、宝塚市は西宮市と異なる進め方を何故するのか。この 2 点についてお尋ねしたい。</p>
事務局	<p>まず、学校施設をどのように複合化していくのかだが、先進市では建て替えをし、1 階は公共施設で道路から直接建物内に入れる仕組みになっている。子ども達は校門から入って、2 階に上がって初めて学校施設になる。例えば、東京都品川区では、運動場の下が体育館になっている。地下と 1 階が体育館で、2 階の屋根が人工芝の運動場になっている。1・2 階までが公共施設で、3 階以上が学校施設、屋根も運動場になっているような施設がある。それは、多額のお金をかけた場合はできる。そうでない先進市は、既存の学校に門を別に付けて、そこからフェンスを張って、学校施設に直接入れるようにしているが、そこはフェンスで子ども達を区別している。車も入ることが出来ないようにして、ある特定の教室だけを地域に利用していただくようになっている。</p> <p>実は、宝塚市でも一部の学校では、道路から直接その方だけの専用道路というものはないが、末広小学校の 1 階の一部にコミュニティ専用の部屋がある。一部ではそういう例があるが、本格的に宝塚市で複合化というものが始まっているわけではないので、シェアするのではなく、専用の部屋。ただ、将来目指す複合化は、専用の部屋を作るのか、あるいは、子ども達とシェアするのは今後の検討と思う。</p> <p>例えば、図書館、今は西図書館、中央図書館と分室しかないが、学校の図書スペースを 1 階の市民が集まる場所に持っていくことができれば、地域の方の会合もできるし、一部子ども達も共有することが出来て、蔵書数も増やすことが出来る。先進地ではそういう取組をしている。シェアするという方法もあるので、今後、市長部局とも検討していかなければならないと考えている。ただ、それは十分な余裕教室ができてきての前提で、小中一貫となると、一つの建物に子どもが集中してくるため、なかなか難しいと思っている。</p> <p>それと小中一貫だが、施設的に受け入れが十分でないといけない。中学生と小学生が一緒に勉強することから、極論を言うと、9 学年が一つの建物に入らないといけない。施設的に余裕</p>

	<p>があるところとないところがあって、ないところが多数を占めているため、20年とか30年計画になってくる。山崎市長の在任期間中にできるかできないかについては、これも選挙だから分からないが、教育委員会が市長の政治的な権力から少し離れたところで方向性を決めることができる組織ということと、あわせて、こういう審議会ですっかりと意見をいただき、審議会の方針として決めていただければ、施策の継続性というものが担保されると考えている。ただ、最終的に予算を出すのは市長なので、市長の大きく変更があれば、財政的な影響は受けると思う。ただ、全国的に見れば、この小中一貫教育の取組は進める傾向にあるので、市長が仮に変わっても大きな変更にはならないと考えている。</p>
委員	<p>スピード感としてすごく遅いと思う。小中一貫となると組織の壁がもっと複雑になってくると思うが、結局その壁を乗り越えられなくて、小中一貫校には行きませんと言われたら、西谷の人たちは出ていくのかとか。その軋轢がものすごく大きいと思っているが、それを乗り越えたとしても、5・10年経っても宝塚市は実行できないのではと思っているが。</p>
事務局	<p>子どもの数が相当減ってこないと受け入れができないという実態があるため、全ての学校で計画を実行に移すのは相当先になる。西谷地域や中山台地域は、既に小規模化が進んでいるが、そこまで減らなくても学校施設に余裕がある場合は、中学校で小学5年生からの5学年、小学校で4学年という分け方を検討しているところもある。このような施設分離型の小中一貫教育というのも視野に入れて検討していきたい。そうすると、それほど年数がかからず、市内の一部の学校では進んでいくと思う。</p>
委員	<p>西宮市みたいに募集をかけるのではなく、エリアで市が分けるということか。小中一貫校に行きたいと言われたら、定員を決めて募集をかけるのか。</p>
事務局	<p>西谷小学校における教育環境をどうしていくのかというのは、小中一貫校も含めて、これから地域と検討していく。仮にそうなった場合は、西谷は小中一貫教育しかできませんので、西谷地域の方は、選択できません。そのため、地域としっかり協議をしていこうと思う。他の地域から来ていただくことが出来るかというのは、特認校制度を合わせもった運用になる。それも地域と協議することになるが、もし西谷地域の方が他地域の方も来て欲しいということになれば、その募集をかけることも十分想定範囲内にはあると思う。</p>
委員	<p>複合施設については、どの地域で、何の施設と一緒にするかで、話がだいぶ違ってくる気がする。そこをどう整理していくのか。例えば、町場の学校で規模の大きいところとなると、コミュニティの人が学校施設を使って入り込むというのは、時間割上難しいところがあるが、先ほど話があったように、市立図書館と学校の図書館を共有にするケースは悪くない。その学校のお子さんの調べものの幅が大きく広がる。学校図書館だとあまり置いてなさそうな本も併設している市立図書館、大人向きの本も含めて調べものが出来る。それから体育施設を共有にするというようなケースも一つ。最近ではプールを使った水泳指導を自前とするか、近場の民間スポーツクラブに委託するかみたいな議論が出ているが、複合施設にしてしまっ、市民が使えるプールにしてしまえばいいという考え方も一方で出てくる。そうすると、学校で管理するというよりは、市</p>

	<p>民プールの管理の中として、学校で使う時間に使うという機能特化したものが町場の学校では考えやすいと思う。</p> <p>一方で、森林地の学校だと、例えば役場の出張所と一緒にするケースとか、公民館と一緒にするケース。小規模で特別教室が空いている時間が多い中で、昼間に地域の方が来て、音楽室や図工室、調理室等、地域の作家や学習集団向けに開放してみても、人の集まる施設として使っていくというのは出来ると思う。そういう意味で、どの辺の立地でどれくらいの規模感のところで、複合化するのかというので、一緒にする相手がだいぶ変わってくる。そして、運用の仕方も変わってくると思う。</p> <p>もう一つは、防犯と安全の問題が大事になってくる。動線をどう分けていくとか、管理の問題をどこで線引きしていくのか、というのは課題になってくると思う。地域特性含めて、少しずつケースを増やしていくのは面白い試みかなと思った。</p> <p>小中一貫にした場合、小規模校は、通学区・学校を変更しなくてもいいが、例えば、長尾小学校や山手台小学校等の大規模校は、20・30年後には人は減っているかもしれないが、もし、近隣で小中一貫校ができた場合、校区を変更することになるか。校区を変更せずに小中一貫校を目指しているのか。</p>
委員	<p>基本的には、小学校区と中学校区の整合がとれている地域とそうでない地域があって、実は長尾地域はとれていない代表的な地域で、小学校の校区変更も含めた一定の整理が必要な地域であると認識している。長尾中学校に行く子ども達で構成する小学校、南ひばりが丘中学校に行く子ども達で構成する小学校、山手台中学校に行く子ども達で構成する小学校という分け方になってくると思う。山手台小学校が校区変更の地域になるかどうかはまだ分からない。ただ、山手台小学校の一部も入ってくると思う。</p>
事務局	<p>山手台小学校区の上の方は、中山五月台中学校との選択制になっている。一部の方が中山五月台中学校を選択しているが、それは吹奏楽部とかそういう特化しているものがあって、そういうのをやりたい方が行っているが、何もなくて、ただ小中一貫というだけで、子ども達にとって何か魅力があるのかなと思う。</p>
事務局	<p>小中一貫教育の必要性というのは、この事業を進める上で、広く市民にはしっかりと説明していかないといけないと思う。また、十分には浸透していないので、進める理由は、しっかりと説明をしていかないといけない。それとあわせて、新たに再編されていく学校の魅力づくりというのは、地域ごとにそれぞれの特色があると思うので、地域単位で取り組んでいってもらいたい。それは校区再編に含めて検討していくことになると思う。学校として、地域としての考え方、学校・地域の魅力、合わせた魅力を検討していただくことになると思う。それをしっかりと広報していきたい。</p>
会長	<p>終了時刻が迫っていて、質問者は後一人とするが、質問はあるか。</p> <p><質問なし></p> <p>そうしましたら、「(3)その他」で何かあるか。</p>

事務局	ない。
会長	<p>【9 閉会】</p> <p>最後に委員の皆様から何か発言等あるか。</p> <p><発言等なし></p> <p>それでは、本日の予定は全て終了したので、事務局にお返りする。どうもありがとうございました。</p>
事務局	<p>会長・委員の皆様ありがとうございました。次回以降の会議については、別途調整させていただきます。それでは、第 8 回宝塚市教育環境審議会を閉会させていただき、ありがとうございました。</p>